

株式会社アルタデント 25周年記念講演会 & 記念式典

おかげさまで25周年

25th
ANNIVERSARY

株式会社アルタデントは、2000年に創業以来2025年をもちまして25周年を迎えました。これもひとえに皆様方の温かいご支援の賜物とスタッフ一同心より感謝申し上げます。この25周年の節目を記念しまして、25周年記念講演会および記念式典を開催させていただくこととなりました。是非、お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時 2025年 12月 7日(日) 13:00～17:30

会場 東京コンファレンスセンター・品川
〒108-0075 東京都港区港南1-9-36 アレア品川 5F

参加費 歯科医師 11,000円、コ・デンタルスタッフ 5,500円
(いずれも軽食・消費税込み)

主催 株式会社アルタデント **ALTADENT**
CORPORATION

Time Schedule

13:00～16:00 25周年記念講演会

記念講演 1 Mr. Ulf Neveling (Stackable.guide - Ulf Neveling
Geschäftsführer: 代表取締役)

記念講演 2 Dr. 前川 祥吾 (東京科学大学 歯周病学分野 助教)

16:00～17:30 25周年記念式典

※ スケジュールは変更になる可能性があります。

記念講演 1

Mr. Ulf Neveling



ここまでできるサージカルステントの最前線

昨今、インプラントを用いた咬合再建術式の中で、フラットニングを伴う症例やプロビジョナルを必要とする症例等、複雑な手技を求められることが増えてきた。それは、CTの発達に伴い高度なデータ分析が可能となったことや各メーカーが必要な機材を適時開発してきたことによるものと推測する。その結果、より正確なインプラント埋入やプロビジョナルの装着技術が求められ、フラットニング用のガイド、埋入用のガイド、プロビジョナル装着用のガイド等いくつかのガイドが一つのオペの中で要求されるケースが増えてきたが、実際にはそれら複数のガイドを使用しているオペは煩雑になっているのも事実である。

これを一つのオペレーションの中で効率よく使用するために注目されているのが、スタッカブルガイド (Stackable Guide) である。ベースフレームをアンカーリングで固定し、その上に役割ごとのガイドフレームを「スタック (積み重ね)」して交換しながらオペを完結させる手法である。今回はこのスタッカブルの概要をお話し、皆さんの今後の臨床における新たな可能性を感じていただけるような機会にしたいと思う。

記念講演 2

Dr. 前川 祥吾



インプラント周囲組織のフェノタイプとインプラント埋入・軟組織マネジメント

チタン製スクリー型インプラントが本邦で臨床導入されて約40年。インプラント体の設計や表面性状の改良、インプラント治療プロトコルやインプラント周囲疾患に関する研究は世界的に盛んに行われ、いまや現代歯科医療に欠かせない治療選択肢となっている。患者・術者の双方にとって簡便かつ再現性の高い、長期に安定した結果が求められる中、審美性とインプラントの長期安定性の観点からインプラント周囲軟組織のマネジメントや重要性が注目されている。本講演では、インプラント周囲組織のフェノタイプに関する近年の地見を統括し、インプラント埋入前のプランニングからインプラント体の選択、インプラント周囲軟組織のマネジメントにおいて、考慮すべき臨床的ポイントを歯周病専門医の立場から症例を交えて再考したい。

お申込みはこちらから



※ ご登録いただいたメールアドレスなどの個人情報は厳正な管理の上、本セミナーのご案内・今後の弊社製品案内メールマガジンの配信に使用させていただきます。